

「図書館サービス向上のためのアンケート」 2013 調査結果

城西大学水田記念図書館

2014/9/1

追加：2015/2/19

修正：2015/2/25

当館では、2007（平成 19）年 9 月、2009（平成 21）年 11 月、2011（平成 23）年 11 月に教員、職員、大学院生、学部生、短大生、別科生を対象とした全学アンケートを実施し、回答結果を参考にサービス・設備の向上を目指してきた。

アンケートの目的は、利用者から見た図書館満足度、並びに改善要望等の意見を参考に、今後のよりよい利用者サービスの提供・図書館運営を行うことである。

今回のアンケートでは、前回から 2 年が経過し、その間に新しく取り組んだ内容や、2012（平成 24）年に開始した学生アドバイザー制度も調査対象とした。

◆調査方法

- ・アンケートは無記名式とした。
- ・質問項目として①利用頻度、②利用目的、③各種図書館サービスについて、④図書館に関する要望等を選択式、あるいは記述式にて回答する形式をとった。
- ・設問数は学生向け 17 問、教員向け 30 問、職員向け 10 問で、回答の所要時間は 10 分程度を想定した。
- ・前回実施したwebでのアンケート回収率が低かったことから、今回は紙媒体にて配布、回収を行った。
- ・学生については、図書館選書委員の教員を通じて各学部の教員に依頼。授業時に配布、回収を行った。
- ・教員、職員については、各事務室へ依頼し、配布を行った。事務室に設置した回収箱、または図書館事務室にて回収を行った。

◆調査期間

回答期間は平成 25 年 11 月 25 日(月)から 12 月 24 日(火)までとした。

※回答結果については別紙のとおりである。

※記述での回答について、サービスについて十分に周知されていない点が見受けられたので、図書館からコメントをつけた。

以上

回答数

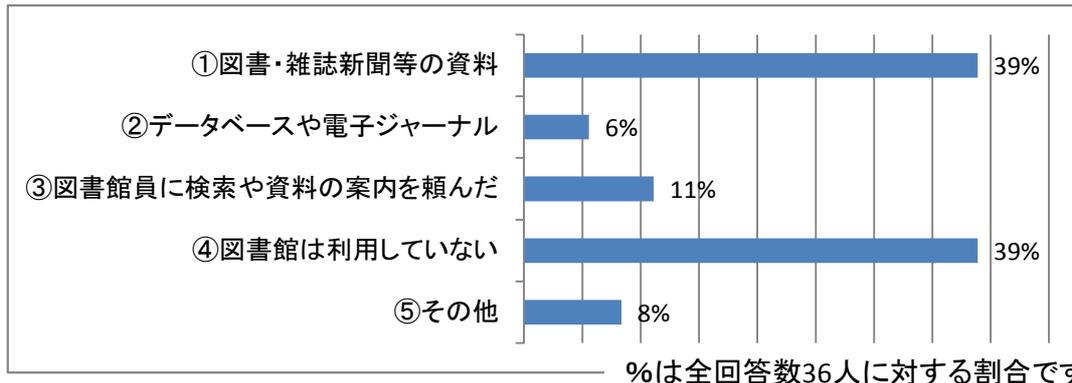
回答数	配布数	回答率
36	163	22%

1. 業務で図書館を利用した際、何を使いましたか(複数回答可)

①図書・雑誌新聞等の資料	②データベースや電子ジャーナル	③図書館員に検索や資料の案内を頼んだ	④図書館は利用していない	⑤その他
14	2	4	14	3

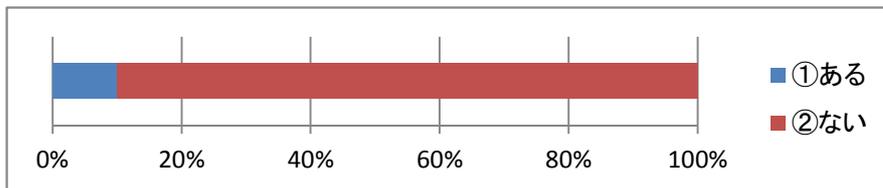
その他の内訳

学習スペース
視聴覚室
修士論文の搬入



2. 業務でデータベースを利用したことはありますか

①ある	②ない	合計
3	27	30

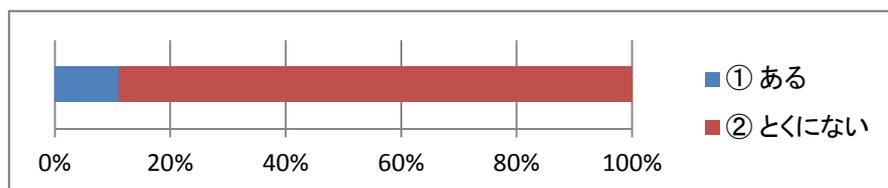


利用したことのあるデータベース

NDLサーチ(2)
CiNiiBooks

3. データベースや電子ジャーナルの講習会で開催してほしいものはありますか

① ある	② とくにない	合計
3	24	27



開催してほしい講習会

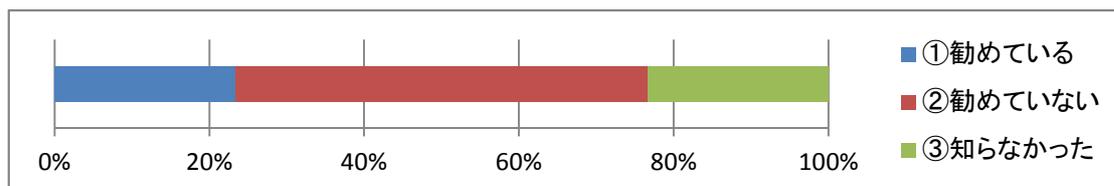
- 1 画像データベースの講習会(もしあるなら)
- 2 就職関連情報に関する講習会
- 3 文献や就職(活動)に関する講習会

ご意見: No.2、3について 就職関連情報に関する講習会、文献や就職(活動)に関する講習会。

A 2014年度は、就職課との共催イベントとして、「就活DVD上映会」「日経テレコン利用講習会」「学生アドバイザー企画 図書館から始める就活」を実施しました。また、出版社に講師を依頼して行った「図書館主催講演会」では、社会に出てからの働き方などを現役で出版社に勤める講師から聞くことができ、学生のキャリア支援にも効果的であったと考えています。

4. 学生アドバイザーの利用について、学生に案内したことはありますか

① 勧めている	② 勧めていない	③ 知らなかった	合計
7	16	7	30

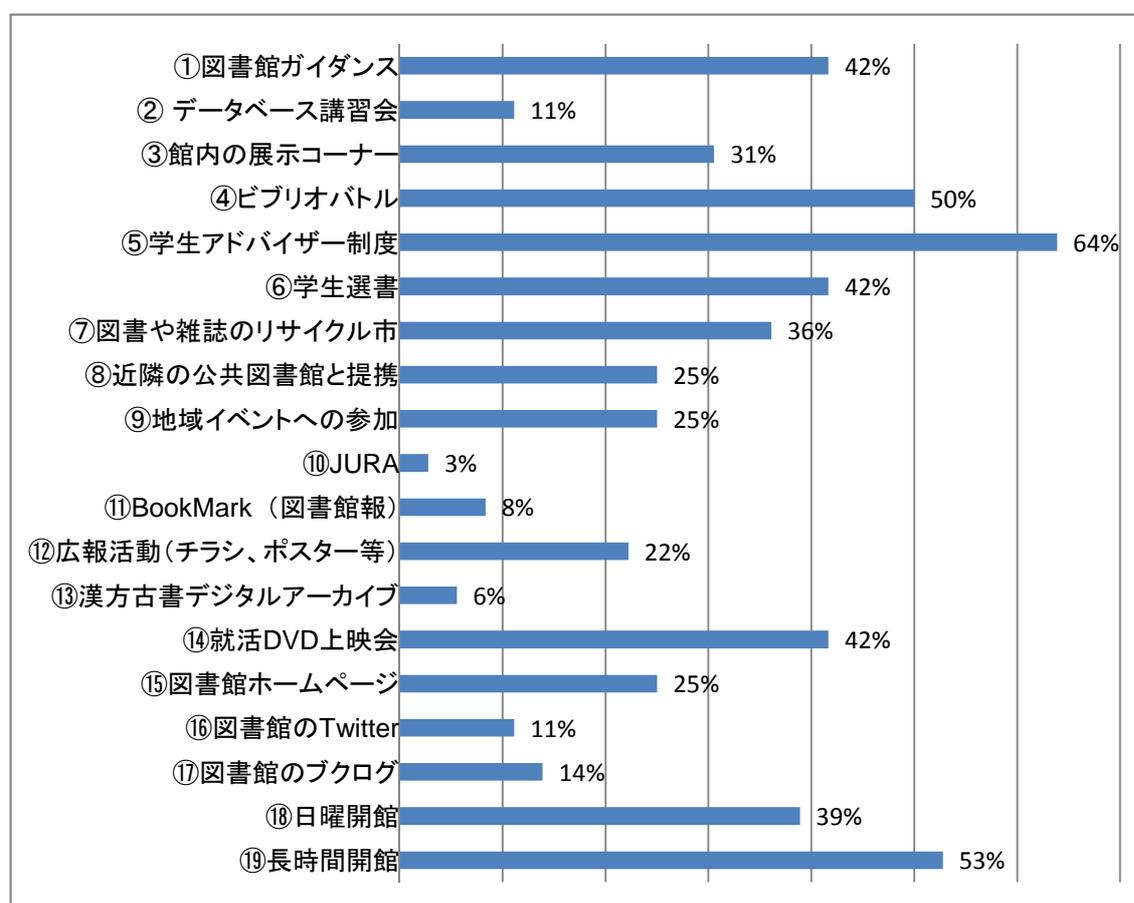


勧めていない理由

- 学生に接する機会がないため(8)
- 図書についての相談を受けたことがない
- 勧めるタイミングがなかったので(窓口への相談内容がそのような内容ではなかった)
- 問い合わせがないので

5. 図書館の活動で良いと思うものに丸をつけてください(複数回答可)

①図書館ガイダンス	②データベース講習会	③館内の展示コーナー	④ビブリオバトル	⑤学生アドバイザー制度
15	4	11	18	23
⑥学生選書	⑦図書や雑誌のリサイクル市	⑧近隣の公共図書館と提携	⑨地域イベントへの参加	⑩JURA
15	13	9	9	1
⑪BookMark(図書館報)	⑫広報活動(チラシ、ポスター等)	⑬漢方古書デジタルアーカイブ	⑭就活DVD上映会	⑮図書館ホームページ
3	8	2	15	9
⑯図書館のTwitter	⑰図書館のブログ	⑱日曜開館	⑲長時間開館	
4	5	14	19	



%は全回答数36人に対する割合です

6. アクティブラーニング推奨の動きをうけてラーニングコモンズを設置している大学が増えていますこれについての意見をお聞かせください

- 1 コモンズの設置については賛成であるが、その運用についてどのように維持していくのか、設置する地域の選定など、実施に際しては部署横断的に取り組むべきだと考えています
- 2 一か所でいろいろな支援を受けられるのは学生にとって良いサービスだと思う
- 3 具体的に何をやるのかまず提示してください
- 4 今の図書館のメンバーさんでしたら可能でしょうが、これは働く場所とそれに合った人の組み合わせがよくないと運用できません。あったらよいのはもちろんです。
- 5 職員の教育的貢献が具体的に思いつかないので意見が書けないのですが、アクティブラーニングはすごく良いと思います。ミーティング、プレゼン、調べ物が1つの空間でできるのは非常に画期的だと思います。
- 6 図書館HPで紹介されている概要、利用案内等を理解して館内のイロハを覚えてうえでアドバイスできるような仕組みがあれば協力していきたい
- 7 大いに進めてください
- 8 同志社大学の情報検索アシスタントはJUでいうところの「学生アドバイザー」のようなものでしょうか。「ラーニング・コモンズ」という言葉は何となく知っていましたが、恥ずかしながらその実態や活動など詳しいことは知りませんでした。こういった「場」を提供することは学生にとっても良いことだと思いますし、職員もまた学生とともに成長していけるのではと思います

7. 図書館では他の課との連携を図り、就活DVD上映会など様々なコラボレーションをしていますが、あなたの部署でも他課とのコラボレーションをしていましたら教えてください

- 1 美術館のギャラリー3は基本的に大学の広報スペースとなっているため、入試課・各学部学科との連携は欠かせません。これまでは現代政策学部インターンシップ展、男子駅伝応援&報告展、入試パンフレットの歴史、短大薬学記念式典時の大学の歩み等、様々に行ってきました。今後は学生クラブの発表の場としても提供していけたらと思います
- 2 していない
- 3 各学部。情報など協力・業務連携は行っていますが、コラボは図書館だけ
- 4 学生に対する広報等のコラボレーションはありません
- 5 健康市民大学はすべてが他部署所属の方々があって成立しています。
- 6 残念ながらしていません。あまりそういったことがしづらい雰囲気を感じてしまうし、職位的に実行するのが難しいのも現状です

8. 上記をうけてお聞きします 図書館と協力できる企画があればご提案ください

1 3日くらい考えてみましたが思いつきませんでした

2 たとえば図書館の歴史をギャラリー3を使ってご紹介するのも可能かと思います。30年以上の歴史の中で図書館がどんな活動を行ってきたのか、学生だけではなく地域にもご利用いただける施設として応援する一助に美術館がなればと思います。また、図書館所蔵の貴重な作品あるいは書籍を美術館で展示するというのもあるのではと思います。

3 ビブリオバトル関係をギャラリー3でできないか？

4 就職課との連携の一つとして各業界の人事担当者の話を盛り込んだDVDを活用するのも一つの手かなと思います

5 来春、入学式の後の午後に新規受講生に図書館紹介の機会を作りたいと思っています。ぜひご協力をお願いいたします。

ご意見:No.2,3について 美術館ギャラリー3の利用

A 2014年度は就職課と連携することで、キャリア教育への支援ができたと考えています。他の部署とも連携し、全学的な支援ができればと思います。何か図書館にできることがあれば、ご相談ください。また、アドバイスも待っています。

ご意見:No.5について 新規受講生に図書館紹介の機会を作りたい

A もちろん大歓迎です。ぜひお声掛けください。

	9. 図書館では学生の貸出冊数が伸び悩んでおります どのようにすれば学生の読書量を増やせるか、ご意見があればお聞かせください
1	「ゼミとのコラボ」 各学部のゼミと協力しディベートやディスカッションの際には教員が本学図書館所蔵の書籍群よりテーマを設定、学生には1週間ほどの時間を与えて内容を練らせ、そのうえで討論に臨ませる、など
2	iPadやツールを図書館から変えて1つの興味ある「とっかかり」にするのはどうでしょうか。あとはウォークマンで「耳で読む」のもありかなと思いました。
3	アナログとデジタルコンテンツの使い分けが貸出冊数の減少(伸びなやみ)につながっていると思います。現在ではアナログ(書籍)が発行されてから蔵書になるまでタイムラグがあり、学生が敬遠する一因になっているとも考えられます。選書の基準のほかに、文学的要素を加えると共に、配架を見直しにより、より自分の見つけたい書籍に素早くアクセスできるような試みをしてよいかと考えます
4	これは自然なことです(文字よりも画像のほうが見やすいので)
5	デジタルツールに移行していく、読書の面白さ、意義をPRしていく(うまく伝えていく)
6	フレッシュマンセミナーでビブリオバトルを企画して、同時限のところで合同でやれば面白そうですが、これはスタッフに大きな負担です。それを忘れれば、今から先生方に投げかけておくのもよいかと→いくつかの先生のフレッシュマンセミナーと内々に進める必要あり、です
7	ライトノベルを置いてください
8	専門書以外のものも少し増えると学生が来るのではないかと
9	雑誌の種類を増やすと利用学生が増えるのでは。文庫などはカバーがなくみんな同じように見えてしまう(見た目はすっきりしていて好きですが)
10	雑誌をもっと多くしてほしい。新刊本を多く(複数冊)してほしい
11	学生の情報源はJUnaviが主流だと思うので、月1回でも図書館からのメールを送るといいかも？たとえば今月のPickUpBookとか…(TBSの王様のランチのBookコーナーみたいに気になる！と思わせる紹介の仕方がGoodだと思います。わかりやすく引き込む☆ ブクログ閲覧数アップにつなげる？)あとは卒論、レポートのチョイ技とかどうでしょう？ あと貸出冊数の多い子にプレゼントとか。今のあなたにぴったりの本診断(心理テスト的な感じで)
12	図書館ツイッター等学生がよく利用するSNS関連で人気の図書館新書集まり等があると口コミで広がると思います。すでに様々な活動をされているのでよく拝見しています。
13	図書館の職員の方々や先生方(実名での)「私のおすすめ！」的なPOP「あの先生がよいと言っていた本」というのは影響力があると思います。逆に本→先生を知るきっかけになるかもしれません
14	図書館を頻繁に利用する学生は、資料や雑誌を含めそれなりに読書をする習慣がついていると思います。図書館に足を運ばない学生に如何に来てもらうかは難しいところですね。学納金には施設設備費も含まれているので利用しないと「コスパが悪い」と知らせてあげれば効果があるのではないのでしょうか
15	先生からのレポート等の課題提出
16	電子書籍の普及によって図書館でわざわざ本を借りるという手間、携帯に不便等という理由から私自身も借りる機会が減ったように感じます。本の魅力、「読む」というだけでなく「本」そのものの面白さを伝えていくことも大事なのでは、と思います。たとえば本はどうやってできているとか、どんな紙を使って、装丁はどのようにして行われているのかなど？(これはあくまで私個人の要望でもあります、すでに行っていたかもしれません)
17	読まなければならない環境作り小中学生ではないが課題図書など
18	本の感想を掲載するスペースを設けるのはどうでしょうか

ご意見:No.1について ゼミとのコラボ

A 大歓迎です。1冊の本を課題に指定する際などは、一時的に館内のみで利用できるよう調整もできます。ぜひ活用していただくよう、先生にもご案内ください。

ご意見:No.7について ライトノベルを置いてください。

A 図書館では収書基準に則って資料を購入しています。ライトノベルは基準から外れるため、購入しておりません。ご理解ください。文学系の文庫としては岩波文庫、講談社文芸文庫等を所蔵しています。(【参考】城西大学水田記念図書館収書方針 http://libopac.josai.ac.jp/guide/kitei/021_syusyo.pdf) 学生には大学図書館と公共図書館を使い分けるよう案内しています。

ご意見:No.8について 専門書以外のものも少し増えると学生が来るのではないか

A 2014年から、比較的読みやすい新書を充実させています。

ご意見:No.9について 雑誌の種類を増やすと利用学生が増えるのではないか

A ラウンジにある父母後援会雑誌は2年に一度見直しをしています。2014年12月にアンケートを実施しました。また、冊子の雑誌の他に、PC上で読める電子ジャーナルもあります。例えば、「日経BP記事検索サービス」は『日経ビジネス』等のビジネス関連雑誌や、『日経メディカル』等の医療関連雑誌まで幅広く読むことができます。学内ならどこからでもアクセス可能で、事務室でも利用できます。ぜひ学生にもお知らせください。

ご意見:No.9について 文庫などにカバーがなく、みんな同じように見えてしまう。

A 文庫に限らず、2011年7月末から、カバーをつける運用に変えました。

ご意見:No.10について 新刊本を多く(複数冊)してほしい

A 予算やスペースに限りがあり、シラバス図書以外は複数冊を購入することは難しい状況です。

ご意見:No.16について 「本」そのものの面白さを伝えていくことも大事なのでは、と思います。たとえば本はどうやってできているとか、どんな紙を使って、装丁はどのようにして行われているのかなど?

A 2013年から出版社の協力を得て、現役編集者や営業担当者の講演会を実施しています。2013年11月には「岩波書店現役編集者が語る 編集の仕事：本が生まれるまで」と題し、岩波書店の現役編集者の方に講師を依頼し、書籍を生み出す「編集の仕事」について話していただく機会がありました。その中で、紙や、装丁に関するお話もありました。今後も、このような取り組みを続け、学生の読書推進を図っていきたいと思います。ぜひご協力ください。

ご意見:No.18について 本の感想を掲載するスペースを設けるのはどうでしょうか

A 感想をふせんに書いてボードに貼り付ける形で、ミニ展示の一部で試験的に実施しました。また、2014年度から、感想をしおりにして共有する「しおりさん」という取り組みを、学生アドバイザーが行っています。申込用紙に記入してBOXに投函すればしおりになって配布されます。教職員も可能なので、ぜひ参加してください。

10. 図書館についての意見・要望をお聞かせください

- 1 BookMarkは毎月楽しく拝読しています。色使いのセンスが良く記事の配置もとても見やすくハイレベルな仕上がりになっていると思います。その色々な活動に精力的に取り組まれていて皆様の熱意を感じます。昨今公共図書館は「無料図書館」と揶揄されることも多いですが、大学図書館は流行に左右されることなく、研究に必要な書籍を購入できる貴重な存在だと思います。向学心にあふれた若者の成長の一助になっていることでしょう。
- 2 学生への図書館ガイダンスを聞いたことがないので的を射ているか??ですが経営学部生はほぼ毎年図書館ガイダンスを受けている子もいますので、その学年で必要な情報を提供していただけたらもっと学生も図書館を利用すると思います。(例)2年:資格 3年:就活 4年:卒論、とか…学生への試みが十分伝わっていないかもしれないので、(知る人ぞ知る状態になってる)やはりJunaviでちょっとずつ図書館の魅力を伝えるのはいかがでしょう
- 3 受付スタッフの笑顔が印象を良くしていると思います
- 4 常に新しいことを取り入れようとする姿勢は見習いたい。大学として行うプロジェクトを図書館中心に考えてほしい
- 5 図書館の活動自体に何らいうことはありません。むしろ同じ公共施設として見習う点は多くあります。今後も学生、各職員、一般利用者にとって「使いやすい」「親しみやすい」「わかりやすい」図書館であることを期待します。ただ、やはり長年言われていることと思いますが、建物の設備等にやや問題が残るかと思えます。オープンキャンパスで女子学生がまずチェックするのは建物のトイレということも聞いたことがあるほどトイレは殊のほか重要なようです。本来であれば正門近くに(美術館ではなく)図書館が新しくできたほうがよかったですのではとさえ感じます。あるいはJIUと同じように美術館併設の図書館ができていたら…と思うこともあります。すぐに解決できるものではありませんが、よりよい図書館であることを願います。
- 6 かるい飲食ができるコーナーがほしいです。
- 7 コーヒーを飲めるスペースがほしい
- 8 他大学では図書館内にカフェテリアを設置するなど学生が利用しやすい環境づくりをしているようですが、本学でもそのような環境づくりが必要であるかと思えます。
- 9 貸出期間が長いのでありがたく思っています。職務上税金等の本を探したことがあります、実際には雑誌等を中心に利用しています。
- 10 展示コーナーが本を見つける手助けになっているのでより充実してほしい
- 11 特にありません(お世話になっています)
- 12 様々な活動をされているので大学に活気をもたらしていると思います。学部事務室にとっては安心して学生を案内できる場所です。

ご意見:No.2について (図書館ガイダンス)その学年で必要な情報を提供していただけるともっと学生も図書館を利用 すると思います。(例)2年:資格 3年:就活 4年:卒論、とか

A ガイダンスや講習会を実施するうえで参考にします。ガイダンスは、都度先生方と内容を相談しながら実施していますが、学部事務室や、部署と協力してできることがあれば、取り組みたいと思います。

ご意見:No.2について 学生への試みが十分伝わっていないかもしれないので、JUnaviでちょっとずつ図書館の魅力を伝えるのはいかがでしょう

A イベントや講習会などのお知らせを、JUnaviで配信するようにしています。場合によっては学部や他の部署から発信してもらう方が効果的かもしれませんので、その場合はご協力をお願いします。

ご意見:No.5について 建物の設備等にやや問題が残るかと思います。トイレはこのほか重要で

A 改修をお願いしていますが、実現にはもう少しばかり時間がかかりそうです。

ご意見:No.6,7,8について 飲食スペース・カフェテリアの設置

A 図書館も皆さんのご提言どおり、設置はしたいと思っておりますが、建物構造や予算の点で、すぐに実現するのは難しい状況です。現状は食堂休業中の厳寒期及び猛暑期の日曜に限り、臨時の食事スペースを用意しています。

ご意見:No.9について 職務上税金等の本を探したことがありますが、実際には雑誌等を中心に利用しています。

A 税金に関する情報として、図書と雑誌の他にデータベース「D1-law.com税務・会計データベースStandard」(ホームページ:データベース集:https://www.zeikaikaidb.com/cgi-portal/D1WP_PORTAL/D1WPPStartup.exe)があります。税務・会計法規のほか、『TAX&LAW 会社税務の実務』『こんなときどうする 会社の税務Q&A』等を参照できます。大学内のみ、同時に2人までのアクセスですが、事務室からも利用できます。